

令和8年度【重点分野① 指令業務の高度化】 申請金額【令和8年度 6,000,000円】

研究課題：『〇〇の研究開発』（フェーズ2）

- 研究期間：1年間 ○代表研究機関：消太大学（研究代表者：消防 太郎）
- 研究協力機関：消太株式会社 ○研究支援機関：消太消防本部

該当する研究フェーズを記載

現状

現状に加え、本研究に係る既存研究等もわかりやすく簡潔に記載

- ・空気呼吸器は総重量が20kgであり、動きづらい。
- ・立入検査や消防同意等は、個人によりその見解が差違があってはいけない。
- ・緊急車両が、運転手によりルートが異なったり、間違った方向へ走行することはあってはならない。

課題

本研究の必要性、重要性、社会的意義等をわかりやすく簡潔に記載

- ・現状の強度を保つためには、軽量かつ同程度以上の強度がある素材を開発することが必要。
- ・個人の経験や知識ではなく、組織としての回答や見解を統一したものを作成する必要がある。また、それを効率よく出力することができるようになる必要がある。また、検査や資料作成時など、チェック漏れを防ぐことも重要。
- ・基本の経路や悪天候時、工事、渋滞時の経路等、様々な状況を即座に分析し、導き出す必要がある。

目標

目標は数値を用いて、何かどうなるのか、わかりやすく簡潔に記載

- ・総重量を【10kg】まで軽量化し、機動性を向上させる。
- ・AI等により、提出された書類のチェックや検査時の動画や写真による分析、発出文書のチェック等、業務の効率化が図られ、個人による見解の差違や間違いがなくなり、【45%の労働時間の削減】ができる。
- ・降雨・積雪状況、道路工事、渋滞情報等、様々な情報を元に最適なルートが導き出され、現場到着や病院到着が【2割早く】なる。

(●●システムのイメージ図)

数値を用いて、可能となることをわかりやすく簡潔に箇条書きで記載



(図の説明) 一人で操作できる消防車



(図の説明) 予防業務AI「消予くん」

採択に至った場合、採択課題を報道発表します。報道発表資料には各採択課題の研究の内容について掲載しています。

このページに記載の内容は、報道発表資料に掲載する研究の内容欄の参考とするため、一般向けとした分かりやすい内容としてください。

研究の内容

〇〇をする際には〇〇が求められる。しかし、従来の方法では〇〇といった課題があり、〇〇することが不可能であった。本研究開発では、〇〇の安全性、耐久性を確保するため〇〇について〇〇をすることなどで検証を行い、さらに検証で得た結果を活用し、新たな〇〇の開発とその実用化に向けた研究開発を行う。このことにより、将来的に〇〇といったことが可能となり、活動時の安全性を高め、〇〇に繋がる。